



# 一般質問(五人の議員が村政の課題を問う)

## 今井保都議員

- ・白川高校廃校による支援策について
- ・産業廃棄物パチンコ台の撤去について

廃校による支援策は、近隣行政と連携し進めていくとの答弁が以前ありましたが、その後、具体策が打ち出されていません。早急に結論を出され、行政としての支援策を伺います。



廃校が決まった県立白川高校

## 答弁(安江村長)

林材組合所有の旧目立て工場に保管されているパチンコ台は、キヨス合成放置パチンコ対策同盟の指導により、有償で処分すると報告がありました。その他のパチンコ台の撤去はどのようなのか伺います。

現在までの状況は、(一)県奨学金の限度額は増額になり、貸付条件も緩和し、申請すれば借りられるようになっていきました。(二)学区の見直しにより、益田清風高校と中津高校が受験出来るようになりました。(三)スクールバスの運行は、現在、県において、検討中です。(四)寮の建設については、難しいのが現状です。

旧目立て工場のパチンコ台については、林材組合の方が百万円を超える費用を出して、七月中旬から撤去に入られると伺っています。他に保管されているパチンコ台については、処理するのに金銭の伴う問題であり、早急の指導を仰ぎながら処理方法を検討したいと考えています。

## 安江利英議員

- ・市町村合併の方向について
- ・行財政の方向について
- ・閉鎖された歯科医院について

破綻した合併問題、今後、どのような形になるのか。又、美濃加茂市を中心とした方向であるのか。小規模な合併は考えていないのか伺います。

今年度示される地方交付税も前年度より少なくなる可能性が高いと思われ、スリム化の為に、又、ここ数年の財政計画を伺います。

## 答弁(安江村長)

兵庫からみえました女医さんが、突然、辞めて帰ってしまった。村民は、大変不便をしいられています。その対応を伺います。

加茂郡は一つ、終始一貫しています。六月三十日に加茂郡広域行政研究会を立ち上げ、広

域で出来ることから進めていき、生き残りを賭けます。

合併については、やらないという事ではありません。小規模の合併は、考えていません。

交付税は、来年度も減ると思えます。その中で経費の削減、効率的な組織・機構見直し、積極的な住民参加意識の高揚等を取りまとめた集中改革プランにより、住民の方々からご指導をいただきたいと考えています。

歯科医師については、現在、探していますが、なかなか見つからないのが実情であります。お知り合いの方が見えましたらお願いします。

## 安江祐策議員

- ・残留農薬のポジティブリスト制度について

五月二十九日より始まった残留農薬ポジティブリスト制度について、農家、生産者に対して、行政として今後の指導は、どのように考えているのか伺います。

## 答弁(安江村長)

※ポジティブリスト・残留農薬基準

今回の制度は、食品衛生法の一部改正であり、保健衛生の観点から見れば、食の安心・安全を確保するため、この制度を推進させますが、農産物を振興する観点から見ると、農産物産出離れや荒廃農地の増加につながる可能性もあるわけですから、農家の皆さんに知っていただくという事を、関係機関と連携

を密にし、一生懸命やらなくてはならないと思っています。食べる側の方からの制度ですので、村としても事あるごとに野菜を作ってみる方、そして、野菜を販売されている方に、今後でも啓発していきたいと思っています。

## 安江浩議員

- ・越原保育園跡地の管理と有効な活用について

保育園が統合されて一年半経過しました。前村長は、高齢者の福祉施設として活用する方向を示されていましたが、村長は、どのような跡地利用を考えているのか伺います。

廃園となり、地主との契約は、賃貸の継続、それとも解消なのか伺います。

## 答弁(安江村長)

子育てと触れ合いの場を望まれている多くのママさんたちと児童、高齢者の生きがい等、相乗効果的に村民のふれあいの場としての継続を望みますが、考えを伺います。

土地の使用については、地主より公共施設ならという承諾をいただいています。前村長の考えてみえた地域密着型介護施設は、現在、名古屋市の医療法人並木会より提案があり検討中であり、今年度中にどうするかという問題ではありませんので、当面の間、老人施設の結論が出るまで期間を限定して、子育て支援室の分室として使っていきたいと思えます。また、ママさんの会が大変熱心でございまして、原則的には使っていただきたいと思っています。子育て支援分室では、週三日程度利用し、あ

この日はボランティアでママさんたちが責任を持って使っていただけならば開放していきたくて考えています。

## 安倍徹議員

- ・急速に進む東白川の少子・高齢化について

五年後には高齢者比率が40%に達する当村は、全国平均より何十年も早く高齢化を迎えますが、村長はどのような理念を持って高齢化問題に対処されるのか伺います。

今年三月に発表された保健福祉、介護保険事業計画を見直し、強化する必要があると思われ、その考えを伺います。

## 回答(安江村長)

高齢者は、今後、どんどん増えていくものと予想しています。現状を見る限り、寝たきり老人を減らす対策が必要と考え、保健衛生活動の予防事業を最重要にと考え、健康な老人が多数を占めるような方向で進めたいと思っています。同時に、家庭での介護のあり方や、介護者の交流や慰労も必要と考えています。

本年三月に策定をしました介護保険計画は、地域包括支援センターや地域密着型介護施設などの内容が不透明な段階で作成してあり、また、今年度に入り医療制度改革や介護保険法の見直しも行われ、現状にそぐわないものがあるので、見直しは必要と考えています。

## 老人クラブ 高砂会

高砂会では、クラブ活動事業として、村内の施設研修が行われ、研修日が、七月十一日、丁度村議会の定例会初日だったので、議会を傍聴することが出来ました。参加した二十一名は、議会傍聴は、初めてで興味津々で傍聴させて頂きました。入場する前に議事事務局の人から色々注意事項を受けて入場しました。会場内には、議員席に引き合せて村

## 議会傍聴記

長さんをはじめ行政側の幹部職員の方々の席という配置で、今回初のCATVのテレビカメラが入っているのか、若干緊張気味の皆さんでした。今回から議員の定数が十二名より七名に減少したため行政側に対し、議員側の数が少なく空席が目立つのが淋しい気がしましたが、これも時代の流れでしょうか。その間、私達は、緊張をして身動きせず静かに。

会議に入りまずと議事は、ルール通りに厳粛な雰囲気の中で進められました。これが村政の意志決定機関の姿かと改めて認識しました。一般質問に聞き入りましたが、行政側の皆さんが、村民のために真剣に取り組んでおられる姿をみて親しき新村長さんにエールを送り、又その苦勞を感じ、今後でも活躍させますことを祈り、私達の決められた時間が来ましたので、後髪を引かれる思いで議場を後にしました。

## 議会放映について

議会では、広く村民の皆様に関心を持って頂くため、東白川CATVにて、本議会一般質問の様態を放映しています。今後とも議会に対し、ご意見、ご要望をお願いします。